

大学生の就職内定率

過去最低の73.1%

前年同期比で過去最大の7.4ポイント低下

旺文社 教育情報センター 平成22年1月

文部科学省(以下、文科省)および厚生労働省(以下、厚労省)はこの程、大学・短大等の就職内定状況を発表した。それによると、今春卒業予定で就職を希望している大学生の就職内定率(以下、内定率)は、平成21年12月1日現在で73.1%(前年同期比7.4ポイント低下)。新氷河期到来を思わせる、大変厳しい状況であることが判明した。

概況

● 氷河期を下回り、過去最低

大学生の内定率は、“氷河期”といわれた15年度73.5%、16年度74.3%を下回り、同時期調査を始めた8年度以降、過去最低を記録した。前年同期比でも過去最大の7.4ポイント低下した。15年度を底に4年連続で上昇していたが、金融危機に端を発した景気動向の不透明感の悪影響を受け、一昨年より急速に悪化した。また、短大女子も内定率47.4%、前年同期比-9.5ポイントで、8年度以降二番目の下降幅を記録。11年度の46.8%に次ぐ低水準に留まった。

● 内訳

大学生の内定率を男女別にみると、男子は73.0%(前年同期比-7.4ポイント)、女子は73.2%(同-7.4ポイント)。文理別では、文系が72.0%(同-8.4ポイント)に対し理系は78.6%(同-2.2ポイント)。私立女子69.0%(同-9.5ポイント)、私立文系69.9%(同-8.9ポイント)のダウンが大きい。設置者別では、国公立が80.7%(同-4.6ポイント)、私立が70.5%(同-8.5ポイント)と、国公立と私立の内定率の差は、昨年の6.3ポイントから10.2ポイントに大きく広がった。地域別では、全ての地区で下降しており、特に中部地区は69.7%(同-15.4ポイント)と大幅に悪化した。中国・四国地区67.4%(同-9.6ポイント)、関東地区76.4%(同-7.1ポイント)など、全国的に景気動向の急激な影響を受けている。

文科省と厚労省は、「新規学卒者の雇用環境は依然として大変厳しい状況にあり、緊急雇用対策本部が昨年10月23日に取りまとめた『緊急雇用対策』に基づき、昨年12月には、文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣が日本経済団体連合会等4団体に対して新規学卒者の採用の拡大について直接要請を行うとともに、245の業界団体等に対して文書による要請を行っている。また、文科省においては昨年7月に採択した、学生への就職支援の強化など総合的な学生支援を行う大学等の取組(400件)に対する支援に加え、平成21年度補正予算(第2号)において、大学等へ就職相談員(キャリアカウンセラー等)を配置するなど大学等の就職相談体制の強化を図る取組等に対する支援を更に実施することとしております」と、対策を発表した。就職状況は大変厳しく、今後の動向に引き続き注意していきたい。

<文科省・厚労省の調査概要>

○調査依頼先

設置者・地域の別等を考慮し、文科省・厚労省において抽出。大学 62 校（国立 21 校、公立 3 校、私立 38 校）、短大 20 校、高等専門学校 10 校、専修学校 20 校、合計 112 校。

○調査対象人員

大学・短大・高等専門学校……計 5,690 人、専修学校……560 人、計 6,250 人

○調査方法・内容

各大学等において、所定の調査対象学生を抽出した後、電話・面接等の方法により、性別、就職希望の有無、内定状況につき調査を実施。

○調査時期

平成 21 年 10 月 1 日、12 月 1 日、22 年 2 月 1 日、4 月 1 日の 4 回実施

平成 21 年度

大学・短大・高等専門学校卒業予定者の就職内定状況調査（平成 21 年 12 月 1 日現在）

*調査対象＝大学 62 校、短大 20 校、高等専門学校 10 校の計 92 校

*就職内定率＝就職希望者に対する現時点での内定者の割合。

*前年度就職率＝平成 21 年 4 月 1 日現在調査の前年度卒業学生の就職率。

*カッコ内は前年度同期調査からの変動値（ポイント：▲は低下）。

[全 体]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	73.8% (▲1.6)	73.1% (▲7.4)	95.7%
国公立	56.3% (2.5)	80.7% (▲4.6)	96.6%
私 立	82.4% (▲3.7)	70.5% (▲8.5)	95.4%
短 期 大 学	79.0% (▲1.4)	47.4% (▲9.5)	94.5%
高等専門学校	56.0% (3.0)	96.9% (1.1)	100.0%
合 計	73.0% (▲1.3)	71.9% (▲7.0)	95.8%

[男 子]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	68.6% (▲1.3)	73.0% (▲7.4)	95.9%
国公立	48.3% (3.2)	76.7% (▲7.5)	96.6%
私 立	79.5% (▲3.7)	71.8% (▲7.5)	95.7%
高等専門学校	56.0% (3.0)	96.9% (1.1)	100.0%
合 計	67.0% (▲0.8)	75.5% (▲6.4)	96.3%

[女 子]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	80.9% (▲2.1)	73.2% (▲7.3)	95.4%
国公立	69.0% (1.5)	85.1% (▲1.3)	96.5%
私 立	86.2% (▲3.7)	69.0% (▲9.5)	95.1%
短期大学	79.0% (▲1.4)	47.4% (▲9.5)	94.5%
合 計	80.5% (▲2.0)	68.0% (▲7.7)	95.3%

[大学：文理別就職内定率]

区分	文系	理系
大学	72.0% (▲8.4)	78.6% (▲2.2)
国公立	79.8% (▲7.6)	82.5% (▲1.1)
私立	69.9% (▲8.9)	74.9% (▲5.4)

[大学：地域別就職内定状況]

地域	就職内定率	地域	就職内定率
北海道・東北	69.5% (▲2.1)	近畿	75.1% (▲6.2)
関東	76.4% (▲7.1)	中国・四国	67.4% (▲9.6)
中部	69.7% (▲15.4)	九州	69.6% (▲5.3)

◆ 大学・短大卒業予定者の就職内定率（平成21年12月1日現在）の推移◆（図1）

